

多目的ダムの建設 平成 17 年版

正誤表

(第 1 刷に対応)

頁 行 など	誤	正								
第2巻 環境・調査 編 P.219 左段下 1 行目	栄養塩負荷を軽減する <u>ためのもの</u> であり、・・・	栄養塩負荷を軽減する <u>ためのもので</u> <u>あり</u> 、・・・								
第5巻 設計 編 P.95 右段上 5 行目	$K = \frac{r^2}{2(t_2 - t_1)} \left[-\frac{1}{h} \sin^{-1} \frac{h}{r} - \frac{1}{2r} \operatorname{cosech}^{-1} \frac{h}{r} \right. \\ \left. + \frac{1}{2h} \sqrt{\left(\frac{r}{h}\right)^2 + 1 - \frac{1}{2h^2}} \right]^{h_2}$	$K = \frac{r^2}{2(t_2 - t_1)} \left[-\frac{1}{h} \sin^{-1} \frac{h}{r} - \frac{1}{2r} \operatorname{cosech}^{-1} \frac{h}{r} \right. \\ \left. + \frac{1}{2h} \sqrt{\left(\frac{r}{h}\right)^2 + 1 - \frac{r}{2h^2}} \right]^{h_2}$								
P.185 右段上 1 行目	運動量式を用いた解析により、下流面勾配が大きいほど h_2/h_1 は <u>小さく</u> なることが示されている。	運動量式を用いた解析により、下流面勾配が大きいほど h_2/h_1 は <u>大きく</u> なることが示されている。								
第6巻 施工編 第 30 章ダム施工機械設備	電気の単位 <u>kVA、kW、kV</u>	電気の単位 <u>kVA、kW、kV</u> に統一								
P.51 図 30-6 内	ベルトコンベヤ(走行型)仕様 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">数 量</td> <td style="text-align: center;">1 台</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">能 力</td> <td style="text-align: center;">390m³ / min</td> </tr> </table>	数 量	1 台	能 力	390m ³ / min	ベルトコンベヤ(走行型)仕様 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">数 量</td> <td style="text-align: center;">1 台</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">能 力</td> <td style="text-align: center;">390m³ / <u>h</u></td> </tr> </table>	数 量	1 台	能 力	390m ³ / <u>h</u>
数 量	1 台									
能 力	390m ³ / min									
数 量	1 台									
能 力	390m ³ / <u>h</u>									
P.52 左段下 9 行目	軌索では 9t 吊りまでが限界と言われている。	軌索では <u>13.5t</u> 吊りまでが限界と言われている。								
P.55 右段下 20 行目	安全率等は「 <u>労働安全規則、同細則</u> 」に具体的に規定されている。	安全率等は「 <u>クレーン構造規格</u> 」に具体的に規定されている。								
P.55 右段下 2 行目	その安全率は、引張強度で <u>6以上</u> としている。また横行索の安全率は <u>4 以上</u> としている。	その安全率は、引張強度で <u>5以上</u> としている。また横行索の安全率は <u>5 以上</u> としている。								

頁 行 など	誤	正																		
P.57 表 30-5 内	ジブクレーン使用実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ダム名</th> <th>作業半径</th> <th>移設の有無と方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弥栄</td> <td>40、37</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>温海川</td> <td>_____</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table>	ダム名	作業半径	移設の有無と方法	弥栄	40、37	_____	温海川	_____	無	ジブクレーン使用実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ダム名</th> <th>作業半径</th> <th>移設の有無と方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弥栄</td> <td>40、37</td> <td><u>タワークレーン</u></td> </tr> <tr> <td>温海川</td> <td>45.0</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table>	ダム名	作業半径	移設の有無と方法	弥栄	40、37	<u>タワークレーン</u>	温海川	45.0	無
ダム名	作業半径	移設の有無と方法																		
弥栄	40、37	_____																		
温海川	_____	無																		
ダム名	作業半径	移設の有無と方法																		
弥栄	40、37	<u>タワークレーン</u>																		
温海川	45.0	無																		
P.58 左上 1 行目	(二)ジブクレーン使用実績 _____ (4)タワークレーン	(二)ジブクレーン使用実績 <u>ジブクレーンの使用実績を表 30-5 に示す。</u> (4)タワークレーン																		
P.61 表 30-6 内	玉川ダムインクライン主要諸元 <table border="1"> <thead> <tr> <th>定格容量</th> <th>9m³(21.6t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>	定格容量	9m ³ (21.6t)	_____	_____	玉川ダムインクライン主要諸元 <table border="1"> <thead> <tr> <th>定格容量</th> <th>9m³</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>	定格容量	9m ³	_____	_____										
定格容量	9m ³ (21.6t)																			
_____	_____																			
定格容量	9m ³																			
_____	_____																			
P.62 図 30-21 内	横軸:時間	横軸:時間(sec)																		
P.62 左上 3 行目	微速運転は、ダンプ乗降時の <u>リバウンド</u> がしない状態まで続行する。	微速運転は、ダンプ乗降時の <u>リバウンド</u> がしない状態まで続行する。																		
P.71 表 30-16 内	コンクリート打設実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>打設時間</th> <th>打設量</th> <th>時間当たり打設量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>	打設時間	打設量	時間当たり打設量	_____	_____	_____	コンクリート打設実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>打設時間</th> <th>打設量</th> <th>時間当たり打設量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(h)</td> <td>(m³)</td> <td>(m³/h)</td> </tr> </tbody> </table>	打設時間	打設量	時間当たり打設量	(h)	(m ³)	(m ³ /h)						
打設時間	打設量	時間当たり打設量																		
_____	_____	_____																		
打設時間	打設量	時間当たり打設量																		
(h)	(m ³)	(m ³ /h)																		
P.90 図 30-51 内	CRT ミキサー (能力:50m ³ /h~80m ³ /h)	CRT ミキサー (能力:50m ³ /h~80m ³ /h)																		
P.98 図 30-61 内	図内:単位の記載のない数値	<u>t/h</u>																		
P.122 右上 20 行目	n:クーリングコイル本数 _____	n:クーリングコイル本数 _____:ロス率																		
P.129 右下 1 行目	15)堀和夫編 <u>ダム施行法</u>	15)堀和夫編 <u>ダム施工法</u>																		

